３号様式の１

排　出　量　削　減　計　画　書

	☑ 新規　　□ 変更
（ 宛　先 ）　京都府知事	令和　8年　9月　25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府宇治市槇島町中川原28	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社　名高精工所　代表取締役　名高　新悟 電話 0774－22－6784

主たる業種	金属切削加工業(他に分類されない金属製品製造業)	細分類番号	2499
事業者の区分	主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択	☑ 産業部門 □ 業務部門 □ 運輸部門	
計　画　期　間	令和8年４月　～　令和11年３月		
基　本　方　針	業務で使用するエネルギー量の可視化し、社内全員が環境と共存した事業活動を意識して、ＣＯ２排出量削減に取り組む		
計画を推進するための体制	代表取締役を中心に各部門のリーダーと定期的なミーティングを実施し、ＣＯ２排出量削減計画の進捗管理や最適化を行う。		

削減率

		基準年度	第１年度	第２年度	第３年度	３年平均増減率
	温室効果ガスの排出の量	（R5-R7）年度	（R8）年度	（R9）年度	（R10）年度	（基準年度比）
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	事業活動に伴う排出の量	1,233.6 トン	1,255.0 トン	1,255.0 トン	1,255.0 トン	1.7 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	
	評価の対象となる排出の量	1,307.6 トン	1,255.0 トン	1,255.0 トン	1,255.0 トン	-4.0 パーセント
	年度ごとの増減率（基準年度比）		-4.0 %	-4.0 %	-4.0 %	
	目　標　の　根　拠	業務の省力化・効率化を図っていく事で、目標削減率４％以上の達成を目指す。				
具体的な取組及び措置の内容	１年目	業務の省力化、効率化、自動化及びDX化を推進する。設備更新時には、省エネルギー効率の高い設備を採用し、エネルギー使用量及びCO_2排出量の削減に努める。				
	２年目	導入・実施した取組の効果を検証し、エネルギー使用量の把握及び削減策の見直しを行う。引き続き業務の効率化と省エネルギー設備の導入を進め、CO_2排出量の削減を図る。				
	３年目	これまでの取組を定着させるとともに、削減効果の高い業務・設備を重点的に改善する。エネルギー使用量及びCO_2排出量の継続的な削減を推進し、環境負荷の低減に努める。				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	工場への太陽光発電導入や品質管理徹底による不良品削減。					
特　記　事　項						

注 １　該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
　 ２　「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第２条第９項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
　 ３　「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の３年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。